

2020年2月28日
大王製紙株式会社

「第29回地球環境大賞 奨励賞」受賞 高密度厚紙『エリプラペーパー』開発・展開

大王製紙株式会社(住所：東京都千代田区)は、2020年2月28日に発表されました第29回地球環境大賞(主催：フジサンケイグループ、後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、一般社団法人日本経済団体連合会)において、「プラスチック代替素材の高密度厚紙『エリプラペーパー』開発・展開」による環境への取り組みが評価され、「奨励賞」を受賞しましたので、お知らせします。

大王製紙では経営理念「世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ」のもと、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指しています。

そのような中、長年培ってきた特殊板紙の製造技術を活用し、紙製ナイフやマドラーの原紙として必要な剛性と、優れた生分解性を併せ持つ高密度厚紙「エリプラペーパー」(Eliminate Plastic Paper)を開発し、プラスチック素材から環境にやさしい紙素材への転換を進めています。また、軟包材分野での紙化による脱プラスチックの展開も進めています。

近年、不法投棄されたプラスチックごみによる環境への多大な影響が問題視され、世界各国で脱プラスチックの取り組みが進んでいます。紙素材「エリプラペーパー」への転換による脱プラスチックへの取り組みを始めとした、当社の環境への取り組みが評価され、今回の「奨励賞」の受賞となりました。

【これまでの受賞歴】

- ・第8回(1999年) 環境庁長官賞 「古紙利用の促進」
- ・第15回(2006年) 文部科学大臣賞 「廃棄物から製紙用無機薬品再生技術確立」

【「エリプラペーパー」採用事例】

「誉の陣太鼓」(株式会社お菓子の香梅 様)

「もちもちショコラ」(株式会社ブルボン 様)



●地球環境大賞顕彰について

「地球環境大賞」(後援:経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、日本経済団体連合会)は1992年、「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、産業界を対象とする顕彰制度として、公益財団法人世界自然保護基金(WWF)ジャパン(名誉総裁・秋篠宮殿下)の特別協力を得て創設されました。本制度は地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、境保全活動・事業の促進や21世紀の社会システムの探究、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的としています。

なお、授賞式は、2020年4月8日(水)元赤坂の明治記念館において執り行われる予定です。

<ご参考>

地球環境大賞ホームページ <https://www.fbi-award.jp/eco/>